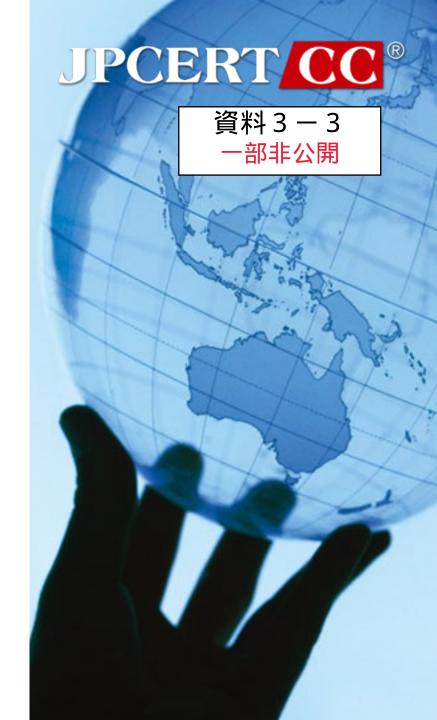
サイバーセキュリティ 国際連携の紹介

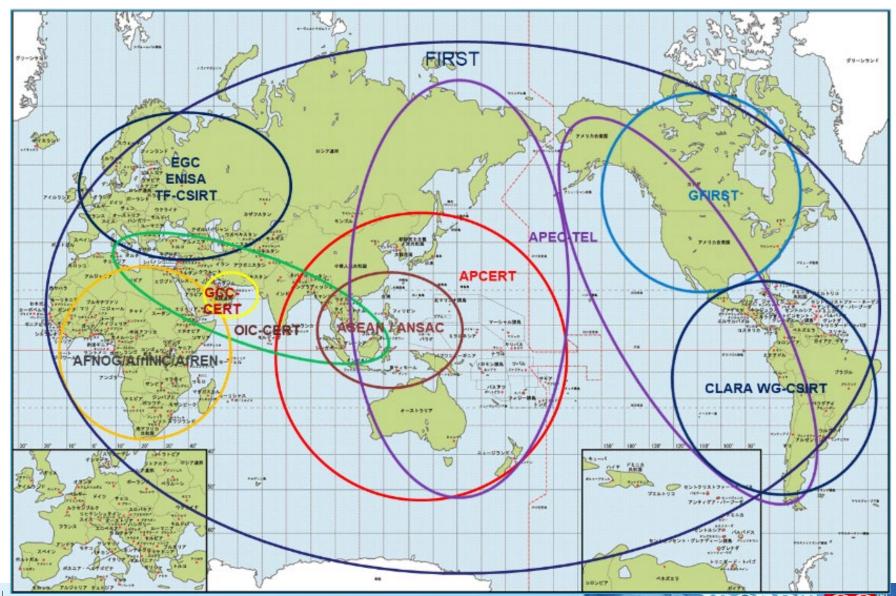
2024年3月

一般社団法人JPCERTコーディネーション センター 国際部部長 小宮山 功一朗



1.サイバー国際連携紹介 (FIRST等)

海外のCSIRTコミュニティ



Japan Computer Emergency Response Team Coordination Center

FIRST

- Forum of Incident Response and Security Teams の略
- ■世界中の CSIRT 同士の交流を目的にした組織
- ■JPCERT/CCは日本で最初に加盟。その後も国内組 織の加盟をスポンサーした実績あり
- ■JPCERT/CC職員が理事として関与
 - —小宮山(2014-18)
 - —内田(2021-25)
- ■毎年1000人規模のカンファレンスを実施
 - ―23年はモントリオールで開催済
 - ―24年は福岡で開催予定

FIRST加盟組織

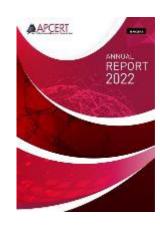


難しさを増す国際連携

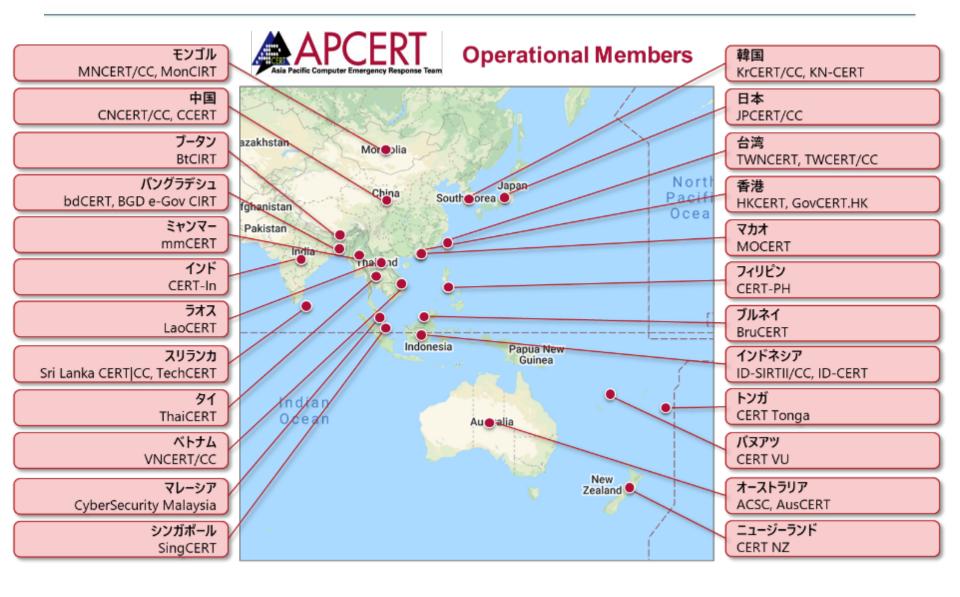
- ■FIRSTは米国に登記された非営利団体
 - ―米国の法律に則って活動することが求められる
- ■米政府による対外制裁の影響
 - —中国
 - ■2019年、Huawei, Dahua, Hikvisionがメンバー 資格停止
 - ―ロシア・ベラルーシ
 - ■2022年、ロシア・ベラルーシから加盟する全 10チームがメンバー資格停止

APCERT

- Asia Pacific Computer Emergency Response Team
- ■2003年設立されたアジア太平洋地域の National CSIRT を中心としたコミュニティ
- ■主な活動
 - ―合同サイバー演習
 - 一年次報告書(5月頃発行)
 - https://www.apcert.org/documents/pdf/APCERT_Annual_Report_2022.pdf
 - —年次会合(9~10月頃)
 - ■2020年~23年はオンラインで実施



APCERT加盟組織

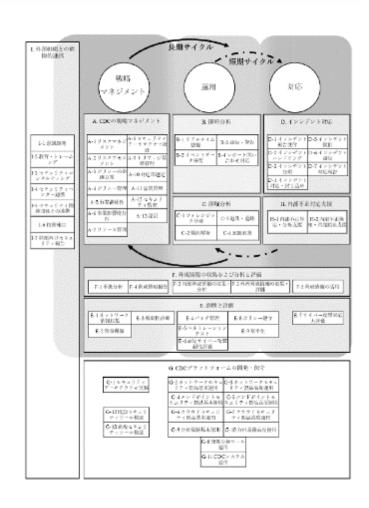


2. 総務省事業 ITU-T X.1060 サイバーディフェンスセンターの普及・啓発

サイバーディフェンスセンター(CDC)について

■ X.1060について

- X.1060 Framework for the creation and operation of a cyber defence centreは、2021年10月に国連の専門 機関ITUで承認された、業種や規模に 関わらずさまざまな組織で利用できる サイバーセキュリティのフレームワー クを定義した勧告文書である
- X.1060は、Cyber Defence Centreと よばれる組織の構築とマネジメントに ついて示し、およびその有効性を評価 するためのフレームワークを提供する。
- CDCは、事業活動におけるサイバーセ キュリティリスクを管理するためのセ キュリティサービスを提供する組織内 団体と定義される
- 2016年にISOG-Jが作成したセキュリティ 対応組織の教科書が土台となっている。現 在でもセキュリティ対応組織の教科書との 相関性が高い



CDCのサービスメニュー一覧

非公開

周知啓発用のノベルティの作成・配布

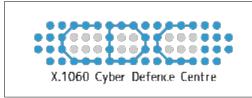
- 標準そのもののメッセージを 織り込んだロゴデザインを、 標準作成のプロセスに関わっ た方に依頼した
- 各種イベントでの活動に使用 した



ポロシャツ・クリアファイル



エコバッグ





ステッカー



プロセスからの教訓

- ■ゆっくりと広がる活用例
 - ―アルジェリアの通信会社などで、X.1060に基づ いた組織の見直しと再編成が行われた
 - ―モンゴル政府のサイバーセキュリティ体制見直 しへの応用
- ■他の標準やベストプラクティスとの「共存」の重要 性
 - ―目指すのは、アフリカにおける、標準を通じた サイバーセキュリティ体制構築の強化
 - —X.1060はそのための選択肢であるというスタン スを維持